

# 新体操レベル別大会

## 2部ルール

レベルⅠの要素⑩⑪  
に変更があります。

学年を問わず新体操の身体的技術を段階的に身に付けられるようにと考え、要素を選択しました。週1回1時間ほどの練習量で演技を披露できる内容を...と考え[徒手]としました。まずは、身体の美しい使い方を身に付け、手具で行う1部へと挑戦できるように繋がってほしいと考えております。



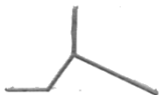


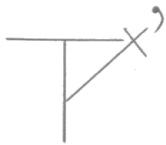

2018,6,10

- ①レベルはⅠとⅡの2つで、個人競技を行います。
- ②学年は問いません。選手の段階に合ったレベルを選択して下さい。  
ただし6位入賞した場合、次年度は次のレベルを選択することとします。
- ③表の要素を用いて自由に振付けてください。
- ④伴奏音楽は1分30秒以内。歌詞ありでも構いません。
- ⑤習得度と実施率を総合して各項目を評価します。  
各項目1.0点満点、15項目合計15.0点満点とします。
- ⑥プレアクロバットの使用は禁止とします。(シェネ、お尻回り等の回転は許可します)
- ⑦線審は設けず[演技面の使用]で評価します。
- ⑧衣装はレオタードであれば、スカート、装飾等は自由とします。
- ⑨シンボルマーク記入の申告書提出。記入のしかたは例をご覧ください。
- ⑩同点の場合  
項目のうち⑭の習得度・実施率の評価が高い選手を上位とします。
- ⑪追加ルール
  - ・プレアクロバットがを実施した場合 [チェックして注意を伝える。減点無し]
  - ・左右の間違え→左右実施した場合 [それぞれを評価]  
→両方向同じ実施 [先に実施したほうを評価。後に実施したほうはカウントしない]
  - ・場外した場合 [⑭の演技面の使用と考え、減点する]

## 2部レベル I

	シンボルマーク	要素	審査項目・注意点
①		6 番ルルベ	2 秒以上 頭から足までが床に垂直 ルルベの高さ
②		垂直ジャンプ	連続 2 回 頭から足までが床に垂直 高さ
③		スキップ	連続 4 回以上 高さ 形が明確
④		シャッセ	左右交互 4 回以上 高さ 空中での 5 番ポジション
⑤		前屈	尾てい骨から頭までが床面と並行 坐骨から足までが床面と並行 両脚の外転、つま先はポイントで
⑥		後屈	うつ伏せで背面へ反らせる つま先はポイントで 両脚の外転、脚を開けずおこなう
⑦		左右開脚	骨盤を床面に垂直に保つ 坐骨から頭まで床面に垂直 大腿部外転・開脚度
⑧		前ルルベ歩き	6 歩以上 両脚の外転
⑨		後ろルルベ歩き	ルルベの高さ 重心移動を美しく
⑩		右 1 番スローターン (時計まわり)	1 番ルルベで細かく回る 両脚が常に外転していること きちんと顔を戻す※ターン導入
⑪		左 1 番スローターン (反時計まわり)	
⑫		動脚が右 パッセバランス	踵をつけてアウトパッセ 形が明確
⑬		動脚が左 パッセバランス	両脚の外転
⑭		習得度・実施率	全体 つま先・膝・ルルベの高さ・脚の外転・姿勢
⑮		表現	全体 曲との一致・演技面の使用・上体の使い方・表情

## 2部レベルⅡ










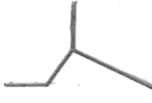
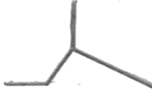


	シンボルマーク	要素	審査項目・注意点
①		左右開脚	骨盤を床面に垂直に保つ 坐骨から頭まで床面に垂直 大腿部外転・開脚度
②		立位前屈	尾てい骨から頭までが直線 踵から坐骨が床面に垂直
③		座位後屈	膝で立ち背面へ反らせる(2秒キープ) 首が長く、頭が落ちないこと 坐骨が床面に垂直 脚を開けずにおこなう
④		右 前後開脚 (前脚が右)	骨盤の位置の正しさを重視 骨盤の左右が水平 骨盤を床面に垂直に保つ
⑤		左 前後開脚 (前脚が左)	
⑥		右 開脚ジャンプ (前脚が右)	開脚度(180度以上) 高さ
⑦		左 開脚ジャンプ (前脚が左)	距離感 両脚の外転
⑧		右 360度垂直ジャンプ (時計まわり)	頭から足までが床に垂直 両脚の外転
⑨		左 360度垂直ジャンプ (反時計まわり)	高さ 回転
⑩		右 横バランス 支持あり (動脚が右)	順手で支持(右脚を上げる場合、右手で支持) ルルベの高さ(踵を着けて行っても良いが、 評価対象となる。-0.1) 坐骨が床に垂直 両脚の外転 ・形が明確
⑪		左 横バランス 支持あり (動脚が左)	
⑫		右 パッセターン (動脚が右)	アウトパッセ 形が明確
⑬		左 パッセターン (動脚が左)	両脚の外転 回転
⑭		習得度・実施率	全体 つま先・膝・ルルベの高さ・脚の外転・姿勢
⑮		表現	全体 曲との一致・演技面の使用・上体の使い方・表情

# 新体操レベル別大会 2部 個人申告書

レベル I ・ レベル II

申告書 例

試技順 ☆ \_\_\_\_\_ 所属 ☆☆ \_\_\_\_\_ 選手氏名 ☆☆ ☆☆ \_\_\_\_\_

	シンボルマーク	審判		シンボルマーク	審判
①	 右	/1.0	⑪	 右	/1.0
②	 左	/1.0	⑫	 左	/1.0
③	 左	/1.0	⑬	 左	/1.0
④	 左	/1.0	⑭	演技全体の習得度・実施率	/1.0
				つま先・膝・ルルベの高さ ・脚の外転・姿勢	
⑤	 左	/1.0	⑮	演技全体の表現	/1.0
				曲との一致・演技面の使用 ・上体の使い方・表情	
⑥	 右	/1.0	得点		/15.0
⑦	 右	/1.0			
⑧	 左	/1.0			
⑨	 左	/1.0			
⑩	 右	/1.0			

審判No. \_\_\_\_\_

# 新体操レベル別大会 2部 個人申告書

レベルⅠ ・ レベルⅡ

試技順 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_ 選手氏名 \_\_\_\_\_

	シンボルマーク	審判		シンボルマーク	審判
①		/1.0	⑪		/1.0
②		/1.0	⑫		/1.0
③		/1.0	⑬		/1.0
④		/1.0	⑭	演技全体の習得度・実施率 つま先・膝・ルルベの高さ ・脚の外転・姿勢	/1.0
⑤		/1.0	⑮	演技全体の表現 曲との一致・演技面の使用 ・上体の使い方・表情	/1.0
⑥		/1.0	得点		/15.0
⑦		/1.0			
⑧		/1.0			
⑨		/1.0			
⑩		/1.0			

審判No. \_\_\_\_\_